



造船科・造船部

須崎エソーラー艇勝つぞ!

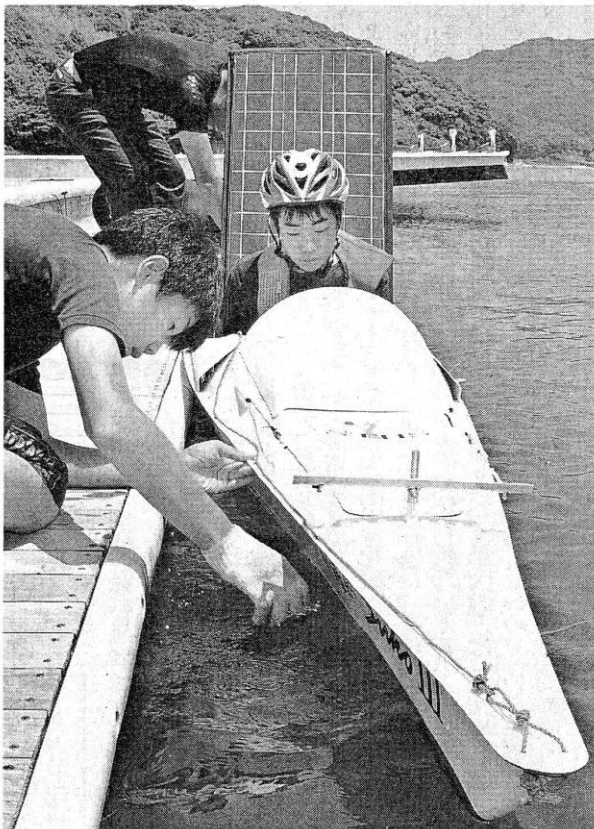
【須崎】昨年、太陽光発電などで走るボート競技「柳川ソーラーボート大会」スラローム・学生の部で優勝した須崎工業高校造船部が、今年も8月2、3の両日に開かれる同大会に出場する。これまで果たせていない2種目同時制覇に向け、須崎市の浦ノ内湾で連日、特訓。31日、会場の福岡県柳川市に向け出発する。(八田大輔)

造船部 福岡の大会へ

同大会は柳川城のお堀がコース。主に九州や中国の企業、学生チームが出場する。競技は、太陽光パネルとバッテリーを積んだボートで約3・1キロコースを3周する周回レースと、フィの間を縫うスラロームの2種目。いずれも一般の部、学生の部に分かれてタイムを競う。須崎工業造船部は2011年に周回・学生の部で初優勝。2艇で出場した昨年はスラローム・学生の部で1、2位を独占した。そのタイムは2艇共に部門新記録を達成し、優勝艇は一般の部の優勝タイムも0秒38上回る好記録だった。

今年是一般の部に14艇、学生の部に同校の2艇を含む28

「今年は2種目制覇」



炎天下でボートのピットイン練習を繰り返す造船部員(須崎市の浦ノ内湾)

艇が出場予定。同校はカーボン製ボートに新たな改造は施さず、重心位置をすらすらなど微調整して挑む。

操船技術やバッテリー交換の迅速さが勝負の鍵となるため、浦ノ内湾の市立スポーツセンターカヌー場で6月下旬から練習を開始。接岸と発進を繰り返して、操船の鍛錬を積んだり、ドライバーと陸上メンバの連携を強化したりしてきた。

体軽の軽さなどからドライバーに選ばれた1年生の森守君(16)は「先輩に続き2連覇したい」。木下裕次郎顧問は「今年はドライバーのバランス感覚がいい。スラロームの新記録と、両種目制覇を目指したい」と意気込んでいる。



連覇目指して、駆け抜ける!